

平成25年（2013年）5月20日
第257回『21世紀塾』参考資料
（第26回提言）

「うなぎの街・三島」の責任

『21世紀塾』代表世話人 小野 徹

【問題提起】

去る平成25年（2013年）2月、ニホンウナギが、環境省から「絶滅危惧種」に指定されるというショッキングなニュースが流れた。

ニュースだけではない。――現実には、稚魚の不漁が続いているとかで、うなぎのかば焼き価格が高騰しているのだ。

このままでは、「ニッポンの庶民の味」として親しまれてきたうなぎ料理が、勿論これまでも高価ではあったが、これ以上値段が上がり上がっては、手が出せなくなってしまふ恐れがある。

佐渡のトキを例に上げるまでもなく、「絶滅危惧種」が「絶滅」に至る時間は、そう長く残されてはいない。

こうした事態に対し、うなぎ料理を出す飲食店が、人口比で全国一といわれる「うなぎの街・三島」が、手をこまねいていていいのだろうか。

「三島に来れば、うまいうなぎが食べられる」だけでいいのだろうか。

「東南アジア近辺の、どこで捕れたウナギであろうと、養殖ウナギであろうと、富士山の雪解け水というミネラル分を多く含む三島の湧水・清流に、1週間も浸せば、身のギュッと引きしまった歯ごたえのある三島の味へ変身して行く」を武器に、浜松に負けない「日本一のうなぎの街」を自負する三島は、「絶滅危惧種」に指定されたウナギの生息に、街をあげて尽力する責務がないのだろうか。

確かにニホンウナギの生態には、まだ不明な点も多いが、最近の調査によれば、ニホンウナギは赤道付近の西マリアナ海溝で産卵し、黒潮に乗って北上。中国や台湾、日本に着いて稚魚となり、河川を上ることがわかっ

てきている。

ところが、そのウナギの上るべき肝心の日本の河川が、洪水被害の軽減や、宅地や農地など、沿線の土地利用の効率化を目指して整備が進んだことがアダ？となって、ウナギの遡上を妨げているというのだ。

これは由々しき事態だ。

もともと三島のウナギは、うまいだけではない。

そもそも三島のウナギは、市内に溢れるそこかしこの清流に、うじゃうじゃいたと伝えられるが、昔から「三嶋大社のお使い」とされていたことから、ウナギを食べるのはご法度とされていた。

実際、徳川2代将軍秀忠が三島に宿を取った際、三嶋大社の神池のウナギを食べてしまった家臣を磔の刑にしたこともよく知られていて、それを幕末に進軍してきた薩摩の兵士が、手当たり次第に捕まえては、蒲焼にして食べてしまってから、禁忌でなくなったという歴史がある。

逆に、そうした暴挙！が、三島のうなぎの美味を東海道筋に知らしめたことで、今日の三島のうなぎ屋の隆盛につながるのだが、つまりそういう謂われがあるからこそ、私たち三島人には、「三嶋大社のお使い」のウナギを、食べさせていただいているという責任があるのだ。

こうしたウナギなどの回遊魚の生態系破壊問題に対して、国土交通省も県も、手をこまねいていたわけではない。

一旦川から遠ざけられた子供たちを、水に触れられるようにした親水護岸も進んでいるし、フナやハヤなどの生息に適した多自然型護岸も整備されて来ている。

しかし、江戸時代ほどではないにしても、戦後の高度成長期までは、狩野川支流の大場川（神川）でも、モジリで簡単にウナギを捕れていたのに、まずまずの川幅の河川も、小川も、農業用水も、いつの間にかコンクリート3面張りになって、裂いて食べられるほどの大きなドジョウもいなくなってしまうた。

もともと、親水性を排除した護岸や水路のコンクリート3面張りには、功罪が指摘されてきたが、今日、河川や用水の防災機能を高め、維持しつつ、ウナギの細長い体を隠すことができる砂の中や岩の割れ目など、それこそ「ウナギの寝床？」のような、ウナギやドジョウが生息する環境を整備するこ

とは、そう難しいことではない。

水質も、環境意識が強まってからは、ぐっと向上している。

河川の構造上も、頑固で、しかも隠れ家やエサという魚の生息に適した魚巢ブロックも開発され、その効果も実証されている。

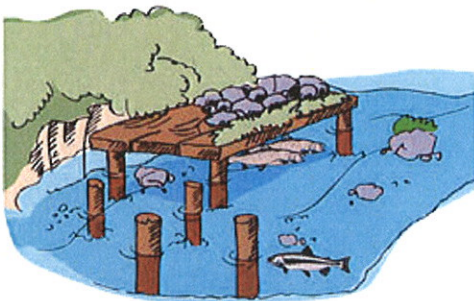
要は、ウナギという「絶滅危惧種」の復活を、自然環境の再整備！の突破口として、河川の改修・再改修に、真剣に取り組むかどうかが問われているのだ。

確かにウナギの生息環境を整備することは、日本全体の課題であるかも知れない。

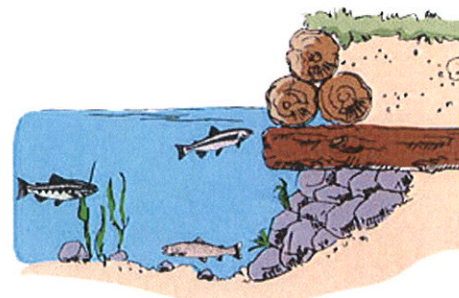
しかし、そのウナギの生息環境の整備に、真っ先に取り組むべきは、「日本一のうなぎの街」を目指す、「三島」でなければならないのではなかろうか。

そこで、まずは、我が三島から声を上げよう。三島の河川から、ニホンウナギの復活に取り組もう。

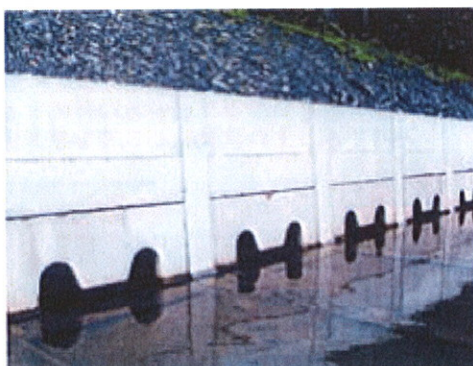
――三島を、これから益々「ウナギノボリ」の街に発展させる為にも・・・。



魚類の生息のイメージ図Ⅰ



魚類の生息のイメージ図Ⅱ



滋賀県の魚巢ブロック施工例



岐阜県の魚巢ブロック施工例